

## 2024年 三鷹地域支部

# 新年の集い 開催

1月28日  
 梅の花  
 (吉祥寺)

去る6月24日(土)に三鷹地域支部2023年度定時総会が三鷹ネットワーク大学会議室で開催されました。総会は、昨午がまだ病み上りのような状態とするなら、今回は体力も回復しやと健康を取り戻した、とでも言えましようか。15名の会員と、ご来賓として多摩支部鈴木綾一副支部長、武蔵野地域支部田中節男支部長、小金井地域支部小島秀治支部長をお迎えして和やかに行われました。「2022年度事業報告」「2023年度収支決算報告」「2023年度事業計画案」「2023年度収支予算案」の4議案全て承認され、無事終了いたしました。

懇親会は本支部役員野村一仁氏経営の「とんかつ福家さん」でおこなわれ、一人づつ近況報告などを披露し、校友会本部からの差し入れ「明大日本酒」、美味なる料理に舌鼓をうち、楽しいひと時をすごしました。

なお、今回、20代の会員が誕生しました。2021年情報コミュニケーション学部卒業という飛び切りの若者です。本紙に寄稿してもらいましたので一読ください。花岡憲信さんです。また子育て

2023年6月24日  
 三鷹ネットワーク大学会議

## 2023年度 第18回定時総会



真つ只中の若い会員もいます。話題は、やはり支部のこれからでした。これは他の地域支部も同じで、役員の手がいない、会員数の減少等々です。地道な活動と勧誘しかないでしょうか。懇親会までお付き合ひ頂いた鈴木綾一副支部長、田中節男武蔵野地域支部長、小島秀治小金井地域支部長のみなさまにはお礼申し上げます。

(大胡記)

前列右から  
 吉田君美  
 小金井地域支部長  
 小島秀治  
 多摩支部副支部長  
 鈴木綾一  
 三鷹支部副支部長  
 高玉茂男  
 武蔵野地域支部長  
 田中節男  
 石井義八  
 後列右から  
 原 一男  
 安藤正喜  
 齋藤眞吾  
 金子正彦  
 齋藤伸和  
 島澤朋孝  
 大胡 修  
 児玉敏昭  
 安藤眞彦  
 林 信雄  
 小川克己  
 花岡憲信  
 (敬称略)

## 2023年度春の散策会 寅さんと逢おう in 柴又



わたくし、生まれも育ちも東京葛飾柴又です。帝釈天で産湯を使い、姓は車、名は寅次郎、ご存知、ボンボンと寅さんの口から出てくる調子のおい口上です。啖呵売たんかばい」と言っています。

5月13日(土)、三鷹駅に集合し、寅さんの待つ柴又へ。案内人は林さん(企画幹事)。あいにく雨模様のため、予定した矢切の渡しは実現できませんでしたが、参道の食堂でウナギ料理を堪能し、帝釈天へ寅さんミュージアムなどを巡りました。

## 多摩支部総会 4年ぶり開催

7月17日(月)、京王プラザホテル八王子で4年ぶりに多摩支部総会が開催されました。また、総会終了後には「多摩支部創立20周年記念祝賀会」が行われ、常務多摩支部長の挨拶に続いて、来賓の柳谷明治大学理事長、北野校友会会長の熱き祝辞あり、抽選会ありと、参加した200余名の校友は楽しく、笑顔の絶えないひと時を過ごしました。三鷹からは11名参加しましたが、抽選会では山崎善國さん一人しか当たりませんでした。

なお、会場では今年の全国校友会開催地、愛知のプロモーションビデオも流されました。大河ドラマ「どうする家康」へ参加者増えるでしょうか?、閉会後、有志で二次会へ!

みなさん!お疲れさまでした

## オオ明治

林信雄 (昭47商)

明治大学博物館の商品部には和紙の原料である「楮、ミツマタ、雁皮」と製品である「出雲和紙等」と文具である「筆(熊野筆等)」が展示されています。文書を研究する人たちの間では、紙の製法とが使用される原料とで、紙が製造された場所と時代が特定されるので当該文書の「真判別」ができる由。

鎌倉時代中頃に活躍した日蓮が佐渡に流罪中、鎌倉在住の檀越に「佐渡では紙が十分手に入らないので、反故紙でよいから送って欲しい」と手紙で依頼している。日蓮が下総国(現在の千葉県)在住の檀越である富木氏に与えた消息文が、中山法華経寺に多数伝わっている。同寺の宝物殿には日蓮直筆の国宝『立正安国論』が収蔵されています。富木氏は下総国衙に勤める在庁官人で、



右から：高玉夫妻、児玉、林、小川、安藤(正)  
 吉田、安藤(興) (敬称略)

下総国のお古くなった公文書を日蓮に送ります。受け取った日蓮は、反故にされた公文書の裏側に日蓮の教学とか信徒の信仰指南を綴っている。



日蓮教団や信徒には教学上有名な「御文」ですが、歴史学者や古文書研究者にとっては、下総国の公文書として記録された歴史の解明に役立つので「紙背文書」と呼んでヨダレを垂らす程に喜びます。さてこうなると、紙の「表」と「裏」はどちらでしょうかね！

## 大相撲

小池喜春(昭52商)



私には取り立てて趣味と呼べるものはありませんが、子どものころから相撲が大好きです。これは大の角力ファンであつた両親の影響です。母の実家(当時は北区滝野川)の近くには昭和初期の名大関鏡岩が住んでいたと聞きました。

初めて国技館(当時は蔵前に行ったのは母に連れられて小学校高学年の時でした。今から60年近く前です。当時は相撲時代、「巨人」大鵬、卵焼きと相撲人気は絶大でした。その中私がファンになったのは北の富士です。後に第52代横綱になりました。今もNHKの解説者として活躍しています。(3月からお休みされています。)(私より一回り上の年齢、今年で81歳、お元気です。北の富士は十両5場所目になると全勝優勝！聖場所には新人幕で13勝2敗の大活躍、ハンサムな顔立ち、身長が185cm、足がすらりと長く一躍人気者になりました。幕内優勝10回を誇る昭和の名横綱です。共に競い合ったライバルは玉の島(のちの横綱玉の海、柏嶋時代のあとに北玉時代の到来と期待されました)

が、残念なことに玉の海は27歳の若さで急逝してしまいました。右四つの型を持つた見事な横綱でした。

当時は個性的な力士が多かった。あだ名も様になっていた。「潜航艇」若浪、「けたぐり」海乃山、「空貫小僧」富士桜、「猛牛琴櫻」など。

私の大好きな北の富士も一時期「イン横綱」と呼ばれていました。

私は今年5月にコロナ禍後、3年ぶりに国技館に観戦に行きました。今の相撲取りは同じような顔、同じような体型が多いですね。四股名も何が何だか分からない。今、私が期待しているのは豊昇龍立浪部屋、関脇24歳、5月場所現在(突いてよし、押してよし、組んでよし、足腰の強さは幕内でピカ一でしょう。叔父さん(三元横綱朝青龍)のように大関、横綱を目指して欲しいものです。いや彼ならきつとなれますね！

でも品格だけは叔父さんに似ないで欲しいものです。

相撲は日本の国技と言われていますが、それは法令等で定められたものではありません。でもよいじゃないですか。国技に異論がある方はいないでしょう。相撲は日本人の誇りです。三鷹市出身の関取に三鷹山がいました。昭和22年生まれ、三鷹市立第一中学校卒業、十両を2場所経験しましたが、20歳の若さで廃業してしまいました。私は彼の現役時代を知りません。

相撲万歳！よいしょ！失礼しました。(私は相撲の観戦チケットの購入依頼はお受けできません。)(容赦ください。)



## はじめまして

花岡憲信(令和3情コミ)

エムエム通信(一覽)の皆さま、初めまして私、2021年度情報「ユニニケーション学部卒の花岡憲信」と申します。先日、縁ありまして三鷹地域支部会に入会させていただきました。20代の会員という事で今回のエムエム通信に寄稿させていただきました。正直なところ私のような年代の者にとって、校友会というものは敷居が高く、存在は知っているものの実際に入ってみようとはなかなかないものだと思います。実際、私自身も今回のような縁いただくまでは校友会に参加してみようと思っただくことはありませんでした。ですので、若い世代の方にお伝えしたいことがあります。普段生活している中では、大学の先輩たちとお会いする機会が少ないと思います。自分自身の人脈も広がりますし、人生の先輩方から貴重なお話を聞く機会もあります。自分にとってもプラスになることも多々あるかと思えます。タイミング合う方いらっしゃいましたら三鷹地域支部に参加されてみてはいかがでしょうか。

## 私の子育て奮闘記

今浦 啓(平成19法)

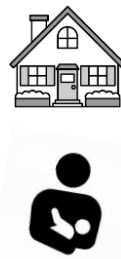
今年、これまで住んでいたマンションを売却し、戸建てを建て、郊外に転居しました。子どもが増え、手狭になったことが一番の理由です。

狭いながらも庭があることで、子どもたちも楽しんで遊んでおり、家族みんなが家で過ごす時間も増えたように思います。4歳の長男と一緒に「DAD」芝生を張りましたが、まあまあ上手くできたかなと思います。手前味噌ですが。

それにしても、やんちゃやがり(?)の子どもたちのエネルギーは凄いと感じています。これまでは、土日のどちらかは事務所で仕事をしていましたが、今はそう簡単にかがず、土日は家族サービスです。仕事よりもある意味疲れる休日です。

幸か不幸か、特にこれといった趣味もありませんが、しばらくは一人でのんびりする時間は取れそうにないな、と思っています。

ただ、子どもたちと過ごす時期はあつという間と言われていきますので、楽しむ気持ちを持ちながら妻と奮闘していきたいです。



## スワンが変じて馬に？

いま、井の頭池のポートハウスはリニューアル工事です。

スワンポートもお休み。でもスワンが馬に変身したように見えますか？

ポートハウスは10月下旬にはオープンするそうですから、スワンもまた、もとにもどります。



## 耳よりニュース

▼三鷹地域支部秋の散策会

世田谷 豪徳寺(招き猫界限の散策を企画します。詳細は同封しました「案内」をお読みいただき、ぜひご参加をお待ちします。)

▼「歩こう会」のご案内

武蔵野地域支部では、毎年、「歩こう会」を開催しています。前回1月に開催された井の頭公園から深大寺は三鷹地域支部と合同となりました。

本会は、朝9時三鷹駅集合、昼食後解散という流れで、月一回開催されています。9月以降は左記の通りに開催されます。参加希望者は、高玉(0422-71-5271)までご連絡ください。

9月24日(日) 清波公園から門前仲町  
10月22日(日) 蔵の町川越散策  
11月11日(土) 太田黒公園紅葉見物

## ハナカイドウ

一編集後記

久しぶりに明大マングラ演奏会にでかけた。前奏はウクライナの民族楽器バンドウラ奏者カテリナーナさんの民族音楽だった。哀調を帯びた音色と彼女の澄んだ歌声に魅了されたが、戦火の祖国に平和な日が一日も早く戻ることを願う、カテリナーナさんの強い気持ちが込められた演奏だった。

マングラは卒業生による古賀メロディーなどの演奏を堪能。しかし、部員数の確保が大変だとか。いずこも、後継者難?しかもマングラを知らない学生も多いとか...

明治は遠くなりにけり  
なのか。平成生まれが  
30代半ばを思えば仕方  
ないかも

OG

